

生涯学習・社会教育関係職員研修講座【上北地区研修】

令和6年5月16日(木)13:00～15:00 野辺地町中央公民館 受講者53名

1 内容

【テーマ】「持続可能な地域の活性化、そのためのつながりづくりと人づくり～社会教育の役割～」

【講 師】いちのせき市民活動センター センター長 おの でら ひろき 小野寺 浩樹 氏



【経 歴】

いちのせき市民活動センターのセンター長として、一関市の市民活動支援、コミュニティ支援に携わり、行政と住民の協働推進、住民主体の地域課題解決ができる地域づくり推進を行っている。東日本大震災にあっては、いわて連携復興センターを立ち上げ、陸前高田市にて、復興期における住民主体の地域づくり活動の推進を目的として、陸前高田まちづくり協働センターを立ち上げ、理事として運営に従事している。

【講義要旨】

- なぜ、社会教育活動や市民活動に取り組む必要があるかという、まちを支える1つの主体だからです。まちを支える「まちづくり」は、行政がすべきものだと考えられがちです。行政はもちろんですが、市民もやるべき事をやらなければいけないのです。
- 地域コミュニティを生活の場として、もっと豊かにしていくためには、住人だけではなく社会教育団体や市民活動団体との連携が大切になってきます。
- 今、取り組むべき地域づくりは、人口減少が進んでも、支え・支えられる状況を作っていくことです。
- 社会教育の役割は、現代的・社会的な課題に関する学びをとおして、地域住民の自立に向けた意識を高め、安心・安全な地域づくりの実践に繋がることです。
- 社会教育は、地域住民同士が学び合い、教え合う相互学習の場です。公民館事業は、要求課題に対応するだけでなく、必要課題に視点を転換していくことが重要になってきます。
- 社会教育は人材育成というところが原点です。持続可能な地域のためには、団体に限らず、まちや地域を支える人材が一人でも多く必要です。
- 地域の要望を公民館職員等が事業化に結びつけていくために、住民に対してどのような学びを提供できるか、公民館を学びの拠点として活用することが大切になってきます。そのことが、30年後の時代に安心・安全に暮らせる上北地区を残していくことに繋がってきます。

2 受講者の感想

- ・社会教育が人材育成につながる、そして、学びの場から地域づくりにつながることを学びました。
- ・私自身、積極的に地域に関わっていくことが大事だと思いました。地域の一員として、しっかりと地域課題について意識化していきたいです。
- ・社会教育、公民館について改めて考えさせられました。必要課題に関する学習を今後企画していきたいと思います。